

「思いやりを育む村てんえい推進基本方針」について

天 栄 村
天 栄 村 教 育 委 員 会
天栄村青少年育成村民会議

【6000村民の願い】

子どもたちの健やかな成長は天栄村6000村民みんなの願いであり、村及び村教育委員会としても安心して通え、楽しく学べる学校づくりに努めているところです。学校においては、子どもたちの所属する集団で人間関係の問題が生じていることも事実です。そのような中で、小さな問題がいじめなどに発展することのないよう学校・地域・家庭で大人が関心を持ってしっかりと見守っていく必要があります。これを防止・解決することは大人の責任です。

このため、村及び村教育委員会では村青少年育成村民会議内に「思いやりを育む村てんえい推進部会」の設置をもって、いじめなどのない村てんえいを目指します。6000村民が連携協力して思いやりのある村づくりを推進します。

「思いやりを育む村てんえい推進基本方針」を定め、村青少年育成村民会議の中で、取り組みを進めていくこととします。学校や行政だけで取り組めることには限りがあり、学校、行政、家庭、地域がそれぞれ協力・連携し、天栄村の学校、地域が思いやりで満ちあふれ、みんなが仲良く協力していける村づくりを目指します。

【思いやりを育む村てんえい推進基本方針】

1 学校・行政の取り組みについて

- 学校のすべての児童・生徒及び保護者を対象に毎年度アンケート調査を実施し、子どもたちが抱える問題の早期発見を図ります。
- 学校においては、すべての児童・生徒の個別面談を実施し、児童・生徒が抱える問題の発見に努めます。
- 児童・生徒の状況について、より一層教職員間の情報共有を図ります。
- 6000村民見守り隊の協力を得て、児童・生徒の見守りを行います。
- 児童生徒が楽しく学ぶため、どの学校でも適切な対応をとれるよう努めます。
- 教育委員会、学校の危機管理体制を再確認し、事故・事件発生時の迅速で適切な対応を図ります。
- 問題発生時に、学校の経営安定化や児童・生徒のケア等に当たるため、必要に応じ県教育委員会と連携し、臨床心理士などの専門家を学校に派遣します。
- 各学校では、道徳教育の充実をはじめ教育活動全体をとおして、生命や人権について深く考える機会を充実します。
- 各学校では、機会を捉え生徒指導関する校内研修を実施し、教職員はもとより組織的な対応力を向上します。
- 読書活動を奨励し、既存の読書感想文表彰をとおして児童・生徒の情操を高めます。
(6000村民読書村運動)

2 保護者・家族の皆さんへのお願いについて

- 子どもの様子がおかしいと感じたり、問題が生じたときは、早めに学校や村教育委員会に相談してください。(ソーシャルワーカー・スクールカウンセラー)
- 子どもたちと一緒に過ごす時間を増やし、子どもの悩みを聞くなど十分な会話に努めてください。
- 子どもたちに他人を思いやる優しい心や、社会生活のルールやマナーを守ることの大切さを教えてください。
- 人とのつながり、生命や自然の大切さを家族でともに考える機会を持つようしてください。
- 「早寝、早起き、朝ごはん」、「ノーメディア運動」など家庭での約束を決め、正しい生活習慣を身につけさせてください。

3 地域の皆さんへのお願いについて

- 子どもたちが、地域の様々な人々にふれあうことのできる機会を増やしてください。
- 他人の子でも悪いことをした場合は注意してあげてください。
- 地域の大人が協力し、仲良く頑張る姿を見せる機会を増やしてください。
- 村民全ての方々が登下校の子どもたちの見守りや、学習支援、環境整備など、学校運営に地域の皆さんのご協力をお願いします。

(6000 村民見守り隊・6000 村民学校応援団)

4 生徒指導上の重大事態への対応について

生徒指導上、児童生徒に重大な被害が生じる疑いがあると認めるときや重大事態が発生した場合は、直ちに学校は村教育委員会に、村教育委員会は村青少年育成村民会議会長(村長)に報告する。会長は必要に応じ村青少年育成村民会議「思いやりを育む村てんえい推進部会」を招集し、速やかに事実関係を確認するとともに学校、保護者に対して助言と支援を行う。

みんなできづくさわやかてんえい

☆ 必要のない携帯電話・スマートフォンは子どもに持たせない！

☆ 自転車を乗るときは、てんえいの子はヘルメットを着用しよう！